

いじめや差別のない社会へ

町人権擁護委員が啓発活動

国見町人権擁護委員の皆さんが8月5日、国見夏まつりに合わせ、道の駅国見あつかしの郷で啓発活動を実施しました。活動には町人権擁護委員や町職員らが参加。夏まつりの来場者に人権擁護委員の活動内容が書かれたリーフレットやうちわなど約250セットを配布しました。委員らは「何か困りごとがあれば、いつでも相談してください。力になります」と話しながら、来場者へ啓発グッズを手渡しました。



来場者へ啓発グッズを手渡す人権擁護委員（左）

県北管内トップの個人県民税徴収率

17回連続で国見町に知事感謝状

令和4年度における個人県民税徴収率が優良として、国見町に知事感謝状が贈呈されました。贈呈式は8月8日に国見町役場で行われ、白石孝之県北地方振興局長から引地真町長に感謝状が手渡されました。

令和4年度の収納率は現年課税分と滞納繰越分を合わせて99.79%（前年度+0.36）で、管内の他の市町村と比べても非常に高い徴収率。知事感謝状の贈呈は今回で17回連続となります。



白石振興局長（右）から感謝状を受け取る引地町長（左）

福島県代表として健闘誓う

文化・スポーツ活動等激励金交付

第37回全日本シニアソフトボール大会、ねんりんピック笑顔のえひめ2023交流大会に県代表として出場する、福島北レッドスターズ所属の木村好彦さんと安達雅樹さんが国見町役場を訪れ、引地真町長から激励金が手渡されました。

激励金を受け取った2人は「今年は自分たちも含め、新人が5人も加入しました。若返って強くなったチームに期待してください」と力強く意気込みを話しました。



激励金を受け取った木村好彦さん（左）と安達雅樹さん（右）

持続可能な農業へ

農業委員会が要望書を提出

国見町農業委員会（八島富一会長）は8月18日、国見町役場を訪れ「農業生産資材の高騰等に伴う農業者支援策に関する要望書」を引地真町長へ提出しました。

要望書では、燃油価格の上昇や最低賃金の上昇による人件費の負担増など、農家の経営状況逼迫を踏まえた農産物の適正な価格形成に向けた仕組みの構築により、持続可能な農業経営の実現を求めました。



要望書を手渡す八島会長（中央）と佐久間会長職務代理者（右）



接遇研修のほか活発な交流が図られました

町民の満足度向上のために

国見町・福島信用金庫が合同研修

国見町と福島信用金庫の若手職員を対象とした、接遇向上のための「ホスピタリティ向上研修」が7月25日、国見町役場で開催されました。企業研修アドバイザーで株式会社スマイルアップ代表取締役の大原美代子さんを講師に迎え、約60人が参加。講義やグループワークを通じて、官民共通の課題である「接遇」について学びました。町と福島信用金庫は平成27年に地域密着型総合連携協定を締結しています。



夏マルシェではジャガイモの詰め放題も行われました

安全でおいしい野菜をどうぞ！

あつかし農友会が夏マルシェを開催

くにみ農業ビジネス訓練所修了生と、町内の新規就農者による交流組織「あつかし農友会」が、8月5日・6日に道の駅国見あつかしの郷で夏マルシェを開催しました。メンバーが愛情を込めて栽培・収穫した夏野菜や6次化商品を、試食や農作物のPRを行いながら対面販売。来場者は大きく育ったトマトやアスパラガスなどの夏野菜や、6次化商品などを買い求めました。このマルシェは、今後も定期的開催する予定です。



「道の駅もてぎ」でのPR販売

国見自慢のおいしい桃をPR

全国各地で町産桃のPR販売

国見町は、7月16日に岩手県平泉町の「道の駅平泉」、7月23日に栃木県茂木町の「道の駅もてぎ」、7月29日から30日に岐阜県池田町の「道の駅池田温泉」、8月5日から6日に北海道ニセコ町の「道の駅ニセコビュープラザ」で町産桃のPR販売を行い、国見の桃のおいしさや町の魅力を発信しました。

相互交流を行っている各町で、国見産の桃は大人気。販売開始前から購入希望者の長い行列ができ、販売が始まると用意した桃はあっという間に完売しました。

桃を購入した方からは「今年も甘くておいしい桃を買いに来ました。毎年この時期を楽しみにしています」という声が聞かれるなど、品質の高い町産の桃が全国各地で非常に人気があることがうかがえました。

町では、今後も桃をはじめとする町の特産品を全国各地でPRしていく予定です。



「道の駅ニセコビュープラザ」でのPR販売